

令和5年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
9	6	1	保健体育総務費	388

部局名	教育部
課名	スポーツ交流課

I : 事業概要

施策事業名	保健体育総務事務
事業目的	軽スポーツの普及、啓発や競技スポーツの振興、競技力向上など、多様なニーズに応じた事業を展開し市全体のスポーツ活動の活性化を図る。
事業内容	<p>●全体計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ分野での市民の活躍や取組みを一層推進するための事業や事務を実施する。</li> <li>・スポーツ基本法に規定するスポーツ推進委員会を中心に、市民のスポーツ意識の向上や推進のための事業や様々なスポーツでの指導及び助言を行う。また、スポーツ推進委員の職務を遂行する上で必要となる知識や能力の取得を支援する。</li> <li>・市民へのスポーツの更なる普及のため、スポーツ活動を展開して市のスポーツ振興の中核を担う犬山市スポーツ協会の事業費関連経費に補助金の交付を行い、運営支援を行う。</li> </ul> <p>●主な事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・犬山市スポーツ表彰・全国大会等出場者激励費支給関連業務</li> <li>・スポーツ推進委員の事業実施</li> <li>・犬山市スポーツ協会への補助金交付</li> </ul> <p>●主な決算の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・賞賜記念品 453,478円</li> <li>・スポーツ推進委員報酬 1,260,000円</li> <li>・スポーツ競技全国大会出場者賞賜金 590,000円</li> <li>・スポーツ協会補助金 14,444,000円</li> </ul>
事業の成果・効果	<p>スポーツ推進委員が主体となり、ポッチャ大会など誰もが気軽に参加できるスポーツイベントを計画的に開催した。</p> <p>スポーツ競技大会で優秀な成績を収めた競技者及び指導者の栄誉を称えその功績を広く顕彰するスポーツ表彰の受賞者が年々増加している。</p> <p>スポーツ協会と連携して、指導者育成事業やジュニア世代の育成事業など計画的に実施し、スポーツ協会のネットワークや繋がりを活かしたスポーツ推進事業を展開した。</p>

II : 個別事業内訳

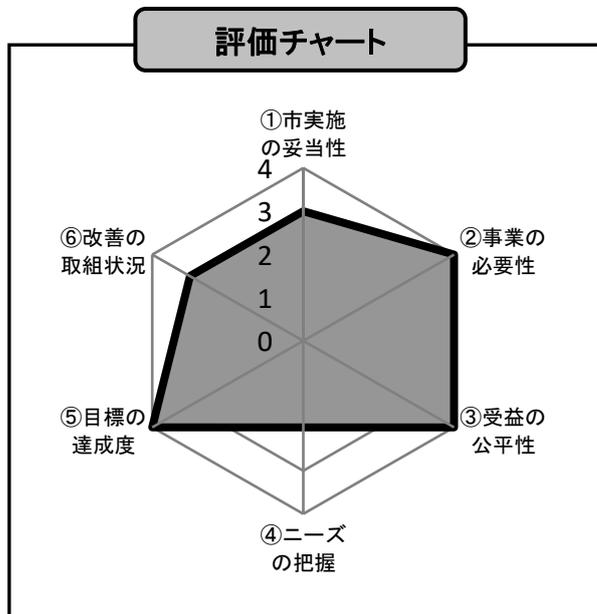
(単位：千円)

(見直し・点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務適正化
保健体育総務事務	1,442	0	1,442	100%	3	4	3
スポーツ推進委員	2,048	0	2,048	100%	4	3	3
スポーツ団体補助	14,444	0	14,444	100%	3	3	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	17,934	0	17,934	100%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R4決算	R5決算	R6予算
		17,152	17,934	20,892
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	17,152	17,934	20,892
一般財源の割合		100%	100%	100%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	3	スポーツ推進委員はスポーツ基本法によって関連事業を推進する役割がある。全国大会出場者等に対する激励費の支給や表彰などの民間による実施は期待できない。
②事業の必要性	4	市民が、豊かな生活をする上での有効な事業であり、健康増進に必要な事業である。
③受益の公平性	4	多数の市民を対象とした事業を展開している。
④ニーズの把握	2	参加者のアンケート等近年実施していない。アンケートの実施を検討している。
⑤目標の達成度	4	当初計画していた事業は全て実施し、目標は達成できた。
⑥改善の取組状況	3	各事業について広報やSNSを通じ積極的に発信しているが、市民の認知度をより高めていくため、より効果的な情報発信手法を検討していく。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和5年度に見直しを実施した事項	犬山市スポーツ表彰審査委員会の時期を年度当初に開催することとしたことにより、前年度の対象者を把握し、対象者の漏れを防ぐよう改善した。犬山市スポーツ表彰式の表彰受賞者が増加している中で、表彰式の開催が長時間にならないように効率的な進行に努めた。
令和6年度に見直しを実施している事項	スポーツにおける激励費の支給対象となる競技種目等について、現状を踏まえ適切に運用できるよう検討を進めている。
今後見直しを検討する事項	市内や近隣地域において各団体等が実施している事業を検証し、スポーツイベント事業のより効果的な実施手法を検討をする。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和5年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
子どもから高齢者まで幅広い世代の市民がスポーツを楽しめる環境を整えるていく必要がある。	スポーツ協会やスポーツ推進委員連絡協議会等の実施する事業を積極的に展開と効果的な情報発信を進め、ライフステージに応じたスポーツ活動が進められるよう、環境整備に努める。

令和5年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
9	6	2	スポーツ振興費	390

部局名	教育部
課名	スポーツ交流課

I : 事業概要

施策事業名	スポーツ振興												
事業目的	様々な分野のスポーツ振興や大会を開催しスポーツ意識の高揚を促すことで、市民の健康づくりに繋げることを目的とする。												
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全体計画                     <ul style="list-style-type: none"> <li>様々なスポーツ分野において、市民が「スポーツに親しむ」や「体を動かす」機会を提供する。</li> </ul> </li> <li>●主な事業内容                     <ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ施設以外でも、市民にスポーツに親しむ場所を提供するため、学校体育施設の開放事業、市民プール代替事業（モンパプール利用の市民優待）などの事業実施</li> <li>市民が参加できる各種スポーツ大会（愛知駅伝、ふれあい運動会、軽スポーツ大会、市民大会）の開催や協力支援</li> <li>マラソン大会（読売犬山ハーフマラソン、いぬやまランニングフェスティバル）の開催</li> <li>いぬやまスポーツコミッションの運営（事務局業務）</li> <li>各種スポーツ関係団体（犬山市スポーツ協会など）への運営支援（補助金の交付）</li> <li>スポーツの普及や振興のためのスポーツ振興基金の積立</li> </ul> </li> <li>●主な決算の内訳                     <table border="0"> <tr> <td>・学校体育施設管理業務委託料</td> <td>1,734,800円</td> </tr> <tr> <td>・各種市民体育大会委託料</td> <td>3,421,019円</td> </tr> <tr> <td>・いぬやまランニングフェスティバル事業費</td> <td>2,912,555円</td> </tr> <tr> <td>・読売犬山ハーフマラソン負担金</td> <td>2,200,000円</td> </tr> <tr> <td>・スポーツ振興基金積立金</td> <td>4,506,297円</td> </tr> <tr> <td>・いぬやまスポーツコミッション負担金</td> <td>591,100円</td> </tr> </table> </li> </ul>	・学校体育施設管理業務委託料	1,734,800円	・各種市民体育大会委託料	3,421,019円	・いぬやまランニングフェスティバル事業費	2,912,555円	・読売犬山ハーフマラソン負担金	2,200,000円	・スポーツ振興基金積立金	4,506,297円	・いぬやまスポーツコミッション負担金	591,100円
・学校体育施設管理業務委託料	1,734,800円												
・各種市民体育大会委託料	3,421,019円												
・いぬやまランニングフェスティバル事業費	2,912,555円												
・読売犬山ハーフマラソン負担金	2,200,000円												
・スポーツ振興基金積立金	4,506,297円												
・いぬやまスポーツコミッション負担金	591,100円												
事業の成果・効果	スポーツ振興においては、年間を通して学校体育施設の市民開放事業を実施してスポーツの場を提供した。スポーツ大会においては、市民大会(20競技)、ふれあい運動会(5小学校)を開催し、愛知駅伝(38市が参加)には犬山市チームとして参加した。マラソン大会では、いぬやまランニングフェスティバルを開催(申込者2,041人、完走者1,798人)した。読売犬山ハーフマラソンについては5年ぶりに開催(申込者6,531人、完走者4,794人)することができた。												

II : 個別事業内訳

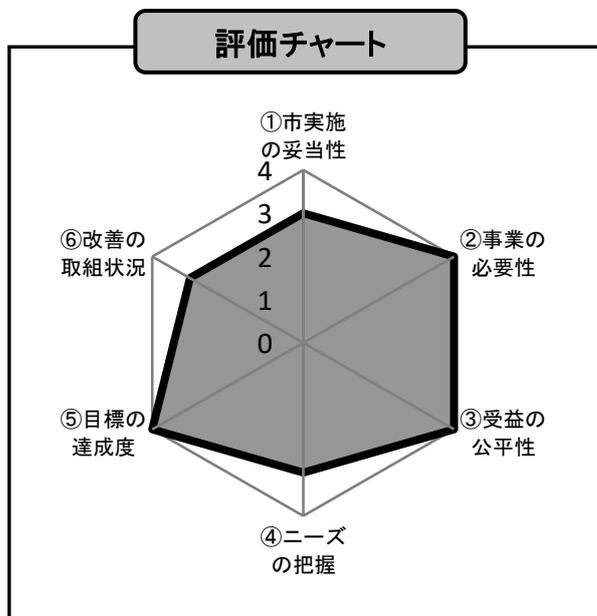
(単位：千円)

(見直し・点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務適正化
スポーツ振興	3,557	360	3,197	90%	3	4	3
スポーツ大会	4,998	600	4,398	88%	3	4	3
マラソン大会	5,362	5,362	0	0%	3	4	3
スポーツ振興基金積立金	4,506	4,506	0	0%	3	3	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	18,423	10,828	7,595	41%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R4決算	R5決算	R6予算
		14,266	18,423	22,228
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	7,066	10,828	13,664
	一般財源	7,200	7,595	8,564
一般財源の割合		50%	41%	39%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	3	他の地域では、民間主体のマラソンやスポーツ大会等が開催されている事例があるが、採算性の確保が課題である。
②事業の必要性	4	市民がスポーツを通して豊かな生活をする上では必要な施策であり、健康増進に高い効果がある。
③受益の公平性	4	多くの市民を対象とした事業である。
④ニーズの把握	3	いぬやまランニングフェスティバルでは参加者にアンケートを実施して参加者のニーズ把握をした。
⑤目標の達成度	4	マラソン事業は計画通りに実施した。スポーツコミッション事業については、プロスポーツ支援事業など新規事業を積極的に展開した。
⑥改善の取組状況	3	スポーツイベントにおける簡素で利用しやすい申込方法の検討を進めている。老朽化した各体育施設の予防修繕や改修工事を計画的に進めるための検討をしている。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和5年度に見直しを実施した事項	読売犬山ハーフマラソンについては、城下トンネルの崩落事故により令和4年度は中止となったが、地元調整を行い、コースの変更を行い開催することができた。スポーツを軸にしたまちづくりを進めるため、プロスポーツ団体の支援など、支援メニューの見直しを図り、スポーツコミッション事業を積極的に展開した。
令和6年度に見直しを実施している事項	スポーツコミッション事業の拡大を図るための誘致活動とともにスポーツ大会の誘致につながる事業メニューを研究し、見直しを図る。
今後見直しを検討する事項	市が主催しているスポーツイベントについて、市内外での他の先進事例を研究・検証し、効率的な大会運営や先進的な取組みを進めていく。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和5年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
市主催のスポーツイベントの必要性を検証しながらも、採算性でのバランス確保が困難であるため、収入増加の工夫や増加している費用の見直しなどの検討が必要である。	スポーツコミッションや、犬山市スポーツ協会(旧体育協会)などのスポーツ関係団体と連携しながら、費用を抑えて効率的なイベントの開催を研究していく必要がある。

令和5年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
9	6	3	体育施設費	392

部局名	教育部
課名	スポーツ交流課

I : 事業概要

施策事業名	体育施設管理										
事業目的	市内の体育施設を有効活用してもらうことで、市民のスポーツ活動の支援や促進を図る。										
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全体計画                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・武道館、弓道場、体育センター、フィットネスフロイデ、木曾川犬山緑地、山の田公園、野外活動センター、内田多目的広場テニスコートの公共スポーツ施設を、市民をはじめ多くの方々のスポーツ活動を通して、生きがいつくりや健康づくりの場の拠点として利用してもらう。</li> </ul> </li> <li>●主な事業内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・各施設の維持管理（定期的な点検や修繕）</li> <li>・各施設利用者の手続き受付や指導・助言</li> <li>・屋外体育施設の営繕工事及び旧市民プールの解体工事</li> </ul> </li> <li>●主な決算の内訳                             <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td>・屋内体育施設管理委託料</td> <td style="text-align: right;">5,802,512円</td> </tr> <tr> <td>・フィットネスフロイデ管理業務委託料</td> <td style="text-align: right;">55,457,225円</td> </tr> <tr> <td>・屋外体育施設管理委託料</td> <td style="text-align: right;">15,217,542円</td> </tr> <tr> <td>・木曾川犬山緑地維持管理業務委託料</td> <td style="text-align: right;">13,009,700円</td> </tr> <tr> <td>・旧市民プール解体工事請負費</td> <td style="text-align: right;">128,040,000円</td> </tr> </table> </li> </ul>	・屋内体育施設管理委託料	5,802,512円	・フィットネスフロイデ管理業務委託料	55,457,225円	・屋外体育施設管理委託料	15,217,542円	・木曾川犬山緑地維持管理業務委託料	13,009,700円	・旧市民プール解体工事請負費	128,040,000円
・屋内体育施設管理委託料	5,802,512円										
・フィットネスフロイデ管理業務委託料	55,457,225円										
・屋外体育施設管理委託料	15,217,542円										
・木曾川犬山緑地維持管理業務委託料	13,009,700円										
・旧市民プール解体工事請負費	128,040,000円										
事業の成果・効果	スポーツ活動、健康づくり、参加者の交流の場として、市内の体育施設を、安全かつより快適な環境を維持した状態で市民をはじめとする多くの利用者に提供ができた。										

II : 個別事業内訳

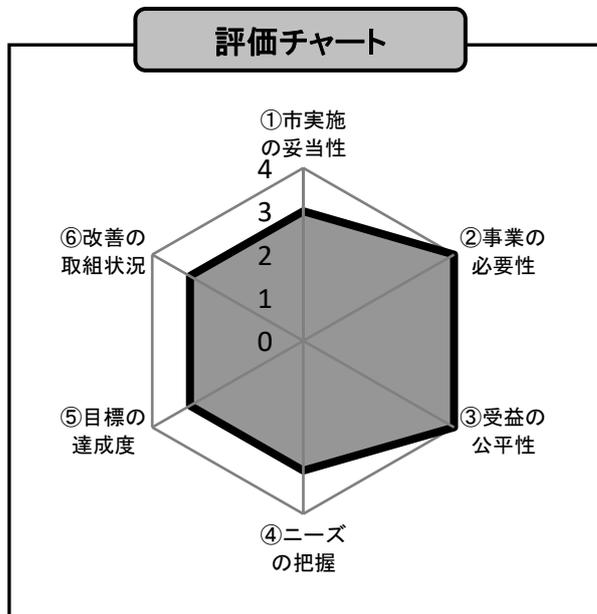
(単位：千円)

(見直し・点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務適正化
屋内体育施設管理	9,013	4,144	4,869	54%	3	3	3
フィットネスフロイデ管理	66,238	47,014	19,224	29%	3	3	3
屋外体育施設管理	43,653	4,524	39,129	90%	3	3	3
体育施設営繕	6,224	0	6,224	100%	3	3	3
旧市民プール解体	129,441	129,441	0	0%	4	4	4
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	254,569	185,123	69,446	27%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R4決算	R5決算	R6予算
		145,112	254,569	170,290
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	55,258	185,123	74,271
	一般財源	89,854	69,446	96,019
一般財源の割合		62%	27%	56%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	3	民間事業者による運営の可能性はあるが、市民がスポーツに親しむ環境を安定的に提供するために必要である。
②事業の必要性	4	市民がスポーツを通して豊かな生活をする上では有効であり、健康増進に必要な事業である。
③受益の公平性	4	多くの市民を対象とした事業である。
④ニーズの把握	3	各社会体育施設には、管理人を配置しているため、常時利用者をはじめ多くの方からの意見を把握を把握し運営管理に反映している。
⑤目標の達成度	3	豪雨等の影響で木曽川の増水し、木曽川犬山緑地や野外活動センターが被害を受け利用中止となった。他の施設は適切に開館できた。
⑥改善の取組状況	3	屋内体育施設への冷房機器設置など環境改善に努めた。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和5年度に見直しを実施した事項	各社会体育施設における申請書を一部改正し、複写式に統一して申請時から許可証までの事務手続きを簡素化した。
令和6年度に見直しを実施している事項	各社会体育施設の現況調査を実施して、特に早急な修繕が必要な施設のリスト化を進め、修繕箇所の優先度を明確化する。
今後見直しを検討する事項	施設使用料について、市内優先のあり方を検討をする。 各社会体育施設における運用について統一した取扱いにするための検討をする。 施設予約システムの活用を検討し、利用者の利便性の向上を図る。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和5年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
各社会体育施設の老朽化に伴う大規模改修の計画を考慮にいれながら、さらなる利用率向上に向けて利活用のあり方を併せて検討する必要がある。	老朽化が著しい施設をリスト化は、財源確保をしながら計画的な大規模改修を実施していく必要がある。また、利活用も各施設の特性を考慮しながら伸ばせる部分を検証していく必要がある

令和5年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
9	6	3	体育施設費	392

部局名	教育部
課名	スポーツ交流課

I : 事業概要

施策事業名	包括体育施設管理
事業目的	羽黒中央公園（多目的スポーツ広場・体育館）を適正に管理し活用することで、市民のスポーツ活動の振興を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全体計画                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者による羽黒中央公園（多目的スポーツ広場・体育館）の管理運営が適正に実施されていることで、施設運営の効率化や活性化が図られ、市民をはじめ多くの方のスポーツ活動を通して生きがいがづくりや健康づくりの増進に寄与する。</li> </ul> </li> <li>●主な事業内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者による適正な施設の管理運営</li> </ul> </li> <li>●主な決算の内訳                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・火災保険料 156,943円</li> <li>・羽黒中央公園指定管理料 105,287,260円</li> </ul> </li> </ul>
事業の成果・効果	指定管理者による施設運営にするで、より弾力的にスポーツ活動、健康づくり、生きがいがづくりの場の提供が可能となり、結果として市民をはじめ市外を含めた利用者が増加した。また、指定管理者による自主事業により、チアダンス教室やトランポリン教室などの多種の教室が展開できたことから、様々なメニューを利用者に提供することができた。

II : 個別事業内訳

(単位：千円)

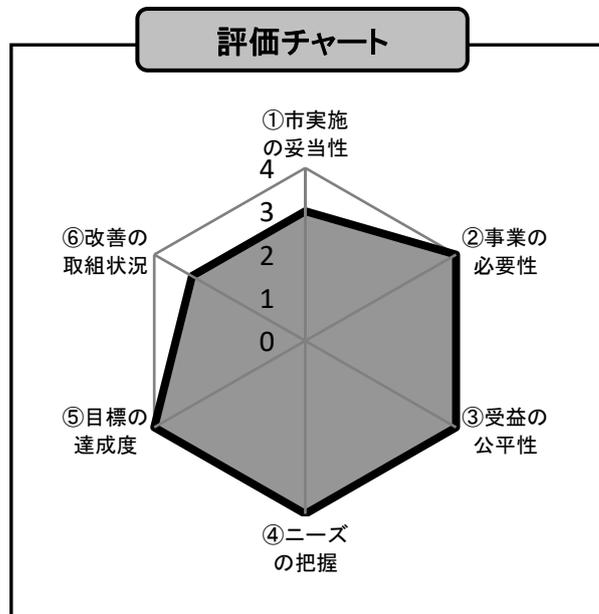
(見直し・点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務適正化
包括体育施設管理	105,730	2,406	103,324	98%	3	4	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	105,730	2,406	103,324	98%	3	4	3

Ⅲ：年度別事業費の状況

(単位：千円)

事業費		R4決算	R5決算	R6予算
		102,350	105,730	104,238
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	2,001	2,406	2,001
	一般財源	100,349	103,324	102,237
一般財源の割合		98%	98%	98%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	3	市民がスポーツに親しむ環境を確保するために必要な施設であり、専門的知識ノウハウを活かした運営体制が確保されている。
②事業の必要性	4	市民がスポーツを通じた豊かな生活をする上では有効な施策であり、市民の健康増進に必要である。
③受益の公平性	4	多くの市民を対象とした事業である。
④ニーズの把握	4	指定管理者制度を導入して、受託事業者において常時利用者の意見を集約できる体制を整えている。
⑤目標の達成度	4	年間を通して安定した施設管理ができています。
⑥改善の取組状況	3	適切な指定管理業務のため、利用者からのアンケート（電子媒体含む）も実施して、サービス向上に繋げた。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和5年度に見直しを実施した事項	急騰する光熱水費に対応するため、指定管理者と協議し指定管理料を見直した。
令和6年度に見直しを実施している事項	施設の老朽化に伴う必要な予防修繕の洗い出しを進める。
今後見直しを検討する事項	羽黒中央公園の多目的グラウンドの人工芝生の劣化が進んでおり、張替え等を含め対費用効果の高い改修方法を検討する。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和5年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
建築年が一定経過による各機器のメンテナンスや修繕を実施するための費用の確保。	施設使用料の一部を施設協力金として積立しているが、将来必要な大規模改修工事に対応するための手法のあり方を検討する。